

第39回建設業経理事務士検定試験

3級試験問題

注意事項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄が2カ所あります。2カ所とも、氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

〔第1問〕 群馬工務店の次の各取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の〈勘定科目群〉から選び、その記号（A～W）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた（例）に対する解答例にならって記入しなさい。
(20点)

(例) 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) 甲社株式3,000株（取得原価@149円）を1株当たり155円で売却し、代金は現金で受け取った。
- (2) 大分商事（株）と¥2,500,000の工事請負契約が成立し、前受金として¥500,000を現金で受け取った。
- (3) 神戸鋼機（株）に対する機械購入の未払代金のうち、¥750,000については手持ちの約束手形を裏書譲渡し、残額¥350,000は小切手を振り出して支払った。
- (4) 得意先の（株）福島商会に対する工事代金の未収分¥620,000は、同社倒産のため回収不能となった。なお貸倒引当金の残高が¥580,000ある。
- (5) 決算に際して、現金過不足勘定の貸方残高¥3,700を適切な勘定に振り替えた。

〈勘定科目群〉

A 現金	B 当座預金	C 機械装置	D 備品	E 工事未払金
F 未払金	G 現金過不足	H 完成工事未収入金	J 未成工事受入金	K 受取手形
L 支払手形	M 有価証券	N 貸倒損失	Q 貸倒引当金	R 有価証券売却益
S 有価証券売却損	T 完成工事高	U 建物	W 雑収入	

〔第2問〕 次の〈資料〉に基づき、下記の設問の金額を計算しなさい。
(12点)

〈資料〉

1. 20×9年12月の工事原価計算表

工事原価計算表

20×9年12月

(単位：円)

摘 要	A工事		B工事		C工事		D工事	合 計
	前月繰越	当月発生	前月繰越	当月発生	前月繰越	当月発生	当月発生	
材 料 費	35,000	187,300	× × ×	73,000	43,100	× × ×	× × ×	606,300
労 務 費	26,300	× × ×	65,200	65,800	39,300	98,200	36,200	429,500
外 注 費	24,100	84,600	47,400	54,100	× × ×	× × ×	22,300	380,100
経 費	7,300	× × ×	25,100	12,600	9,800	32,600	15,800	× × ×
合 計	× × ×	402,900	218,200	× × ×	× × ×	412,700	× × ×	× × ×
備 考	完 成		未 完 成		完 成		未 完 成	

2. 前月より繰り越した未成工事支出金の残高は¥424,100であった。

問1 当月発生 of 材料費

問2 当月の完成工事原価

問3 当月末の未成工事支出金の残高

問4 当月の完成工事原価報告書に示される外注費

〔第3問〕 次の<資料1>及び<資料2>に基づき、解答用紙の合計残高試算表（20×8年11月30日）を完成しなさい。なお、材料は購入のつど材料勘定に記入し、現場搬入の際に材料費勘定に振り替えている。（30点）

<資料1>

合計試算表

20×8年11月19日

（単位：円）

借方	勘定科目	貸方
994,000	現金	741,000
4,150,000	当座預金	2,390,000
2,450,000	受取手形	920,000
6,560,000	完成工事未収入金	4,710,000
822,000	材料	512,000
3,550,000	機械装置	
880,000	備品	
660,000	支払手形	4,780,000
1,750,000	工事未払金	2,988,000
275,000	借入金	1,660,000
1,560,000	未成工事受入金	3,480,000
	資本金	2,000,000
	完成工事高	8,362,000
3,980,000	材料費	
2,260,000	労務費	
992,000	外注費	
614,000	経費	
492,000	給料	
535,000	支払家賃	
19,000	支払利息	
32,543,000		32,543,000

<資料2> 20×8年11月20日から11月30日までの取引

- 20日 材料¥172,000を掛けて購入し、本社倉庫に搬入した。
- 21日 工事契約が成立し、前受金¥300,000を現金で受け取った。
- 22日 材料¥66,000を本社倉庫より現場に送った。
- 23日 現場作業員の賃金¥190,000を現金で支払った。
 - 〃 本社事務員の給料¥170,000を現金で支払った。
- 24日 外注業者から作業完了の報告があり、外注代金¥272,000の請求を受けた。
- 26日 取立依頼中の約束手形¥450,000が、当座預金に入金になった旨の通知を受けた。
 - 〃 本社事務所の家賃¥35,000を支払うため、小切手を振り出した。
- 27日 現場の動力用水光熱費¥30,000を現金で支払った。
- 28日 当社振出しの約束手形¥280,000の期日が到来し、当座預金から引き落とされた。
- 29日 工事の未収代金の決済として¥315,000が当座預金に振り込まれた。
- 30日 借入金¥300,000とその利息¥12,000を支払うため、小切手を振り出した。
 - 〃 工事が完成し、引き渡した。工事代金¥850,000のうち前受金¥250,000を差し引いた残額を約束手形で受け取った。

〔第4問〕 次の文の の中に入る適当な用語を下記の〈用語群〉の中から選び、その記号（ア～ス）を記入しなさい。
(10点)

- (1) 当期の収益として既に発生しているがまだ収入となっていないものを「未収収益」といい、これを追加計上する手続きを a という。
- (2) 通貨代用証券には、 b 、送金小切手、 c 、株主配当金領収証などがある。
- (3) 材料の d を把握する方法として、 e と棚卸計算法がある。

〈用語群〉

- | | | | |
|----------|----------------|---------|------------|
| ア 収益の繰延 | イ 損益 | ウ 為替手形 | エ 継続記録法 |
| オ 郵便為替証書 | カ 期日未到来の公社債の利札 | キ 収益の見越 | ク 他人振出の小切手 |
| コ 先入先出法 | サ 消費単価 | シ 購入原価 | ス 消費数量 |

〔第5問〕 次の〈決算整理事項等〉に基づき、解答用紙に示されている我孫子工務店の当会計年度（20×9年1月1日～20×9年12月31日）に係る精算表を完成しなさい。なお、工事原価は未成工事支出金勘定を経由して処理する方法によっている。
(28点)

〈決算整理事項等〉

- (1) 受取手形と完成工事未収入金の合計額に対して2%の貸倒引当金を設定する（差額補充法）。
- (2) 有価証券の時価は¥348,800である。評価損を計上する。
- (3) 減価償却費を次のとおり計上する。
機械装置（工事現場用） ¥32,000
備品（一般管理用） ¥14,000
- (4) 借入金の利息の未払分¥2,400がある。
- (5) 未成工事支出金の次期繰越額は¥146,200である。